

## 2 運転を始める前の点検

機械を調子よく長持ちさせるため作業前に必ず行いましょう。

### 1 運転前の点検

#### 1. トラクタ各部の点検

トラクタの取扱説明書に基づき、点検を行ってください。

#### 2. 連結部の点検

##### ▲ 注意

- 点検をするとき、傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタや作業機が不意に動き出し、事故を起こす事があります。平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- 点検をするとき、エンジンをとめずに、あるいは駐車ブレーキをかけずに行うと、思いがけない原因で作業機が駆動し、あるいはトラクタや作業機が動き出し、ケガをする事があります。エンジンをとめて、駐車ブレーキをかけて行ってください。
- 点検をするとき、作業機を接地しないで行うと、思いがけない原因で作業機が降下してケガをする事があります。作業機を接地して行ってください。

#### (1) 3点リンクの連結部点検

- ① ロワーリンクピン・トップリンクピンのリンチピン・ベータピンは、確実に挿入されているか。
- ② チェックチェーン張られているか。
- ③ 不具合が見つかったときは、「1-4 トラクタへの装着」の説明に基づき不具合を解消してください。

#### (2) パワージョイントの点検

- ① ピン付きヨークの抜け止めのクランプピンが軸の溝に納まっているか。
- ② ジョイントカバーのチェーンの取付けに余分なたるみはないか。また、適度な余裕があるか。
- ③ ジョイントカバーに損傷はないか。損傷しているときは、速やかに交換してください。
- ④ 不具合が見つかったときは、「1-5-4 パワージョイントの連結」の説明に基づき不具合を解消してください。

#### (3) 電装コネクタの点検

##### ▲ 警告

- 電気配線に断線や被覆の破れがある場合、漏電やショートによる火災事故の原因となります。

- ① トラクタの電装コネクタと確実に接続されているか。
- ② 電装コードに余分なたるみはないか、また、適度な余裕があるか。
- ③ 電装コードに被覆の破れや、挟み込みによる断線がないか確認してください。
- ④ 灯火器がトラクタのブレーキ、尾灯、後退灯、ウインカーと連動して点灯するか。

#### 3. フレールモーアの点検

点検整備一覧表に基づき始業点検を行ってください。

#### 〈タイヤの空気圧〉

##### ▲ 警告

- 適正空気圧を厳守してください。特に空気の入れ過ぎには十分注意してください。守らないと、タイヤが破裂し、死亡または重傷を負う危険性があります。

不具合が見つかったときは、表に基づき適正空気圧にしてください。

型式	タイヤサイズ	空気圧
全型式	13/5.00-6-4PR	280kPa (2.8kgf/cm <sup>2</sup> )

#### 〈消耗部品〉

消耗部品に異常はないか。

「5-3 主要消耗品一覧表」に記載の部品について異常はないか点検してください。

必要に応じて部品交換してください。

## 2 エンジン始動での点検

### ⚠ 警告

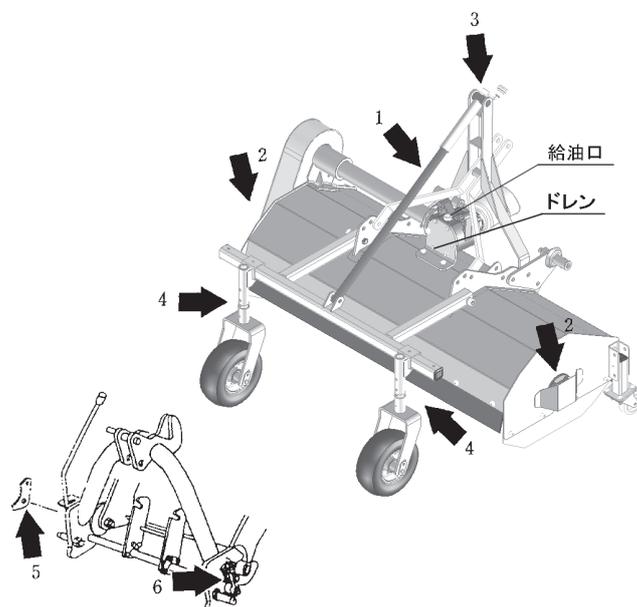
- エンジンを始動するとき、周囲に人がいると、思いがけない原因でトラクタや作業機が動き出し、事故を起こす事があります。周囲に人がいない事を確かめてから行ってください。
- エンジンを始動するとき、PTOを切らないで始動すると、急に作業機が駆動され、周囲にいる人がケガをする事があります。PTOを切ってから始動してください。

### 1. トラクタ油圧系統に異常はないか。

- (1) トラクタ油圧を操作し、3点リンクを上昇し、作業機を持上げた状態で、降下がないか。
- (2) 上記以外に異常が見つかったときは、「6-1 不調処置一覧表」に基づき処置してください。
- (3) トラクタ油圧系統などに異常があるときは、トラクタ販売店にご相談ください。

## 3 給油箇所一覧表

- 給油、塗布するオイルは清浄なものを使用してください。
- グリースを給脂する場合、適量とは古いグリースが排出され、新しいグリースが出るまでです。



No	給油箇所	箇所	潤滑油の種類	交換時間	量	備考
1	ギヤボックス	1	※2 ギヤオイル VG220	使用当初 25 ~ 30 時間 その後シーズン毎に交換 始業点検時確認	※1	作業点検時 確認補給
2	ロータ軸軸受け	2	※3 集中給油 グリース4種;2号	使用 毎	適量	グリースニップル 給脂
3	ハンドル	1	〃	〃	〃	〃
4	キャスター部	2	〃	〃	〃	〃
5	オートヒッチフレーム アーム回転中心	1	オイル	〃	〃	注油
6	オートヒッチフレーム フック; R、L	1	※3 集中給油 グリース4種;2号	〃	〃	グリースニップル 給脂
7	パワージョイント	-	〃	〃	〃	〃

※1 MSM1221、1421=1.2L  
MSM1621、1821=1.3L

※2 IDEMITSU「ダフニー スーパーギヤオイル#220」または相当品をお使いください。車両用ギヤオイルSAE90 API GL-5 使用可。

※3 IDEMITSU「ダフニー エポネックス R No. 2」または相当品をお使いください。

ギヤケースオイル量の確認

ギヤケースが水平状態で確認してください。

(PICシャフトが水平)

ゲージをねじ込まず給油口に乘せ、油量がゲージ先端の目印の間になる様、給油してください。

